平成25年2月25日発行

とやま棚田ネットワークのお知らせ

会員数４２５名（Ｈ２５．２現在）

■棚田保全活動報告

①五箇山の伝統工芸「五箇山和紙」を伝承する人

五箇山和紙は、八尾和紙、蛭谷和紙とともに「越中和紙」の名で国の伝統的工芸品に指定されています。和紙の原料となる「こうぞ（楮）」の成長を助ける作業（草刈り、芽かき等）や、文化財の修復にも採用されるほど強靭な和紙を作る作業（雪晒し：漂白剤を使わずに雪に晒すことで楮を白くする作業）を全て手作業で行っています。

こうした、伝統産業を守るための地道な作業は、日の目を浴びることは殆どありませんが、とっても大切な行程です。五箇山和紙「悠久紙」を作る宮本さんは、伝統技術を「守り伝える」ことの素晴らしさと、大変さを、インターンシップや体験を通じて、若者や都市住民に正しく伝えることで、五箇山和紙の継承につなげています。

（雪晒し）

（楮蒸し体験）

（板干し作業風景）

●宮本さんより【インターンシップを考えている皆さんへ】

「昔ながらのこだわりの和紙作りを続けています。和紙の原料となるこうぞ（楮）を育てるための大事な作業である、草刈りや芽かき、間引きを体験してみませんか。自然のなかでいい汗かけますよ。

また、一つ一つの作業がとっても大事なことだということを経験することにより、皆さんの自信にもなり、大きな力になってくれると信じています。

この体験によって伝統や継続の苦労など、少しでも若い人に伝えることができたら嬉しいと思います。」

●先輩より【インターンシップ体験者】

「インターンシップは自分自身を成長させる。また、これからの私の人生において、すごく意味のある経験だったと思います。（省略）

日本の伝統を残していきたいと口で言うことは簡単ですが、その裏側にはたくさんの苦労がつまっているということを身にしみました。それは今回のインターンシップを経験しなければ得ることができなかったものだと思います。これから政策立案を行政の方と一緒にやっていく機会が増えるので、今回のインターンシップで経験したことを活かしていきたいと思います。」

お問い合わせ：東中江和紙加工生産組合
〒９３９－１９０５　富山県南砺市東中江５８２
TEL０７６３－６６－２４２０
http://www1.tst.ne.jp/yukyushi/index.html →　悠久紙　検索

②小野（この）のじゃがいもはホクホクで最高（オーナー制度）

高岡市福岡町小野集落の、水はけのよい赤土で育つじゃがいも。泥つきのまま陰干しし、低温保存で熟成させた男爵イモは、ゆでるとホクホク。

4 月の種いもの植え付けと、7 月の収穫日には、市内外各地からオーナーが参加します。収穫の後は、とれたてのじゃがいもを囲んで、参加者との交流も行います。

おいしさに定評のある小野のじゃがいもは、高岡市の学校給食の食材にも利用されています。毎年２トン程度のじゃがいもが、地場産食材とあわせてコロッケへと加工されます。

今年度は、小松菜を使った「なっぱコロッケ」、さつまいもとりんごを使った「高岡元気コロッケ」の２種類のコロッケを作りました。

小野のおじいちゃん・おばあちゃんが作ったじゃがいものおいしさは、広くまちの子どもたちにも届いています。

※平成２５年度のオーナー募集も始まっております。
　詳しくは「県内の棚田オーナー制度情報（予定）」をご覧ください。

③低タンパク米「春陽」で食事療法に貢献

氷見市胡桃地区では、棚田保全活動事業の一環として、氷見高校（旧・有磯高校）農業科学科の生徒、金沢医科大学氷見市民病院の医師、看護師等総勢４０名が参加し、農業ボランティア体験活動として、５月に田植え体験、９月に稲刈り、はさかけ体験を行いました。

「春陽」は通常の米より人体へのタンパク質の吸収が少なく、糖尿病腎症など腎機能低下で、タンパク質摂取が制限される患者の食事療法に適しているとされています。

機械に頼らない手作業であるため、時間もかかりますが、一つ一つが貴重な体験です。眼下には、美しい棚田の風景や、弧を描く富山湾、海越しの立山連峰がそびえ、心を癒す空間がここにあります。

■第８回やまだのかかしコンテスト

第８回やまだのかかしコンテストが平成 24 年 8 月 5 日(日)～18 日(土)までの期間、富山市山田赤目谷の棚田で開催されました。

このコンテストは、都市住民の方に中山間地域の現状を見てもらい、棚田保全の大切さを知っていただくため、平成 17 年度から実施しているもので、平成 19 年度から地域住民の活性化を図ることを目的として、赤目谷集落の主催で開催しています。

コンテストを開催した棚田の近くには、富山平野を一望できる温泉施設があり、お風呂帰りの家族連れなども含め、多くの人に見ていただきました。今回の出展作品は、今年話題となったオリンピックにちなんだ作品や人気キャラなど話題性豊かなものが多く、棚田を十分にＰＲできたことと思います。

＜入選作品一例＞

次回コンテストでは、是非ご自身でこのワクワク感を味わってみてください。☺☺☺

■第２回「とやまの農山村写真展」の開催

第２回「とやまの農山村写真展」については、昨年の５月～１１月にかけて、一般県民の皆様へ作品募集を行いました。

県内外の皆様から多数の応募のあった、美しい農山村の風景や、そこに暮らす人々を写した作品（総応募数 196 作品）の中から優秀な作品を表彰し、展示会を開催しました。入賞作品は下記のとおりです。（受賞作品については、年間を通して各交流施設で展示会を行う予定です。）

・入賞者一覧（19 作品）敬称略

【富山県知事賞】　５点

一般部門	最優秀賞	山﨑千秋（射水市）	ジュニア部門	最優秀賞	松井幸之助（舟橋村）
	優秀賞	根芝一夫（茨城県）		優秀賞	片山穂高（砺波市）
	〃	黒﨑宇伸（魚津市）			

【(公社)富山県農林水産公社理事長賞】　３点

一般部門	棚田賞	梶原 隆 （富山市）、野口弘文（富山市）
ジュニア部門	〃	白江啓暁（砺波市）

【とやま棚田ネットワーク会長賞】　１１点

一般部門	特別賞	安達晃章（舟橋村）、若林 繁 （富山市）、吉岡 修 （富山市）、大橋欣次（射水市）、杉村洋子（砺波市）
ジュニア部門	〃	佐野桜里（砺波市）、有坂南珠（魚津市）、吉川空夢（舟橋村）、海棠 玲 （福井県）、向柴伊吹（氷見市）、中井 椋 （南砺市）

【一般部門】

知　事　賞

▲最優秀賞
「春彩」

▲優秀賞
「田植えは楽し」

▲優秀賞
「めざめ」

(公社)富山県農林水産公社理事長賞(棚田賞)

▲「秋色」

▲「初体験」

とやま棚田ネットワーク会長賞（特別賞）

▲「田植えを終えて」

▲「初夏の訪れ」

▲「豊作のよろこび」

▲「手仕事」

▲「冬の棚田」

【ジュニア部門】

知　事　賞

▲最優秀賞
「だいすきなももをそだてている
ぼくのおじいちゃん」

▲優秀賞
「にじの地平線」

(公社)富山県農林水産公社理事長賞(棚田賞)

▲「２つの田んぼかいだん」

とやま棚田ネットワーク会長賞（特別賞）

▲「いとこのもっちゃんと
こうき」

▲「稲田アート」

▲「ひえ取り」

▲「おいしいお米になあれ!!」

▲「おばあちゃんの干柿」

▲「未来にのこそう」

各地で展開される棚田オーナー制度。平成 25 年度のオーナー募集が始まっているものもあるので、棚田の米づくりにチャレンジしたい人は問い合わせをしてみよう。

県内の棚田オーナー制度情報（予定）

名　称	1区画の面積と料金	募　集区画等	概　要	問い合わせ先
「種の里」棚田オーナー ●所在地／上市町西種 	設定なし （共同作業） 2万円 （大人２名まで） 追加料金 5千円/人 追加（3～5名様まで）	約 20 組 （約 40 名まで）	田植え、草刈り、稲刈り・はさがけなど、年2～3回の農作業を地元の方と協力して実施。里山ハイキングや山菜摘み、わら細工等のイベントもあります。 ●特典／玄米約 30 kg、町特産品提供 ●募集期間／4月上旬～5月上旬	上市町グリーン・ツーリズム協議会 （上市町産業課内） ■076-472-1111 http://www.town.kamiichi.lg.jp/event-topics/svTopiDtl.aspx?servno=55&srch=M
みのり棚田の学校 ●所在地／富山市八尾町乗嶺 	設定なし （共同作業） 大人1万円 小人5千円	32 組	立山連峰を一望する棚田（日本の棚田百選認定）で、田植え、稲刈り、さつまいも掘りなどの農作業を実施。「棚田の学校便り」を発行するほか、ホタル観察会やおわら風の盆鑑賞会、地元農家とのバーベキュー交流会も。 ●特典／米（大人 15 kg、子ども8kg） ●募集期間／2月中旬～3月末	みのり棚田の学校実行委員会 委員長：山西さん ■076-454-2954
河西棚田オーナー ●所在地／富山市八尾町河西 	100 ㎡ 2.5万円	10 組 （1組4名まで）	岐阜県境から流れ出す室牧川の水を使って、赤土・粘土質の農地で栽培するコシヒカリは魚沼産に負けないくらいの食味。農園での野菜収穫やホタル観察会、山菜採り、そば打ち体験などで地元農家と楽しく交流する。 ●特典／玄米 30 kg、野菜 ●募集期間／2月中旬～4月末	河西活性化協議会 池口さん ■080-1956-5914 http://www.cty8.com/slowtown/index.html
世界遺産・五箇山棚田オーナー ●所在地／南砺市相倉 	約 100 ㎡ 2万円	15 組	世界遺産・相倉合掌造り集落の棚田で田植え、稲刈りなどが体験できる。そば・赤かぶ・農園オーナー制度もあり、秋の収穫祭には他のオーナーと楽しく交流できる。生育状況の情報提供（ブログ）を実施。 ●特典／玄米 30 kg、地元特産品、温泉入浴券 ●募集期間／2月中旬～4月末	『みんなで農作業の日』実行委員会 南砺市平行政センター ■0763-66-2131 http://gazoo.com/G-Blog/GOKAYAMA_MURA010/Index.aspx
小野じゃがいもオーナー ●所在地／高岡市福岡町小野 	1 区画 3千円	20 区画	植え付け（4 月初旬）、収穫（7 月中旬）里山のきれいな空気と水、素晴らしい環境と風土の中で育ったじゃがいもは、格別のおいしさです。じゃがいもの植え付けと収穫を、地元の方と一緒に行います。 ●特典／自分の区画でとれたじゃがいもを持ち帰り ●募集期間／3月いっぱい	小野自治会 自治会長　宮崎さん ■090-3764-8562

■ご意見・ご要望はこちらまで

メールマガジン配信中！

○事務局（公社)富山県農林水産公社設計管理課 TEL:076-441-7397　FAX:076-444-3851
HP→http://taff.or.jp/tanada/tanada.htm
○富山県農村振興課農村活性化係　TEL:076-444-3381　FAX:076-444-4427